

市民ワークショップの概要について

1. 開催日程

6日間	1日2会場	計12回ワークショップを開催
園部地域	7/16	「環境資源の活用／南丹ブランド」
	7/21	「災害への備え／保健・医療・福祉」
	7/24	「地域教育／地域コミュニティ」
八木地域	7/17	「環境資源の活用／南丹ブランド」
	7/21	「災害への備え／保健・医療・福祉」
	7/24	「地域教育／地域コミュニティ」
日吉地域	7/13	「環境資源の活用／南丹ブランド」
	7/16	「災害への備え／保健・医療・福祉」
	7/20	「地域教育／地域コミュニティ」
美山地域	7/13	「環境資源の活用／南丹ブランド」
	7/17	「災害への備え／保健・医療・福祉」
	7/20	「地域教育／地域コミュニティ」

2. 市民ワークショップでの主な意見

◆7月13日 14:00-16:00

日吉地区第1回 テーマ：環境資源の活用／南丹ブランド

参加者8名

- 南丹市のブランドイメージがある
 - ・家具・美術品の再生リニューアル
- これまでにない働き方が実現できる
 - ・どんな働き方もできる市を目指す
 - ・もともとの仕事（農・林・漁）とこれからの仕事IT、Web、AIのダブルワーク
- 若者が憧れるかっこいい農村生活がある
 - ・暮らし体験ができる移住ツーリズム
 - ・顔が見えるシェアリング機能（田、畑）
- 外国人をターゲットにした環境事業の展開ができる
 - ・簡単な挨拶、習慣を知る仕組み

- ・海外で連携している学校と南丹市をつなぐ

◆7月13日 19:00-21:00

美山第1回 テーマ：環境資源の活用／南丹ブランド

参加者：7名

○南丹市のブランドイメージがある

- ・かやぶき民家の保存
- ・ハンティング学校の設立

○若者が憧れるかっこいい農村生活がある

- ・田舎で暮らす人は何でもすぐには買わずに自分で直す、自分で造るなど生きる力を持っている
- ・見せる農業（牛で田すきなど）

○都市部にはない自然体験ができる

- ・草刈りツアー
- ・農業・林業が体験できる（長期の暮らし体験）

○循環する仕組みがある

- ・物々交換できる
- ・美山鎖国（ブータンみたいに入場料を取る）

◆7月16日 14:00-16:00

日吉地区第2回 テーマ：防災への備え／保健・医療・福祉

参加者6名

○災害に負けない地域づくり

- ・過去の災害の事例を知る機会をつくる
- ・昔ながらの生活を学べる地域（電気がなかったら薪を使うなど）

○災害のときにすぐに助け合える地域のつながり

- ・隣近所と声かけができる仕組み

○徹底した森林の管理ができています

- ・木質バイオマスが日々を支えるエネルギーとして定着している
- ・葉っぱビジネスのようなビジネス

○車がなくなってもスイスイ出歩ける

- ・簡単に予約ができるデマンドバスが縦横無尽に走っている
- ・近所で映画などを楽しみに集まる場所がある

○地域全体で健康を考える機会がたくさんある

- ・登山で足腰健康にたくさん歩くまち
- ・健康な食事がみんなのできる機会を増やす
- ・養生の町、自然をいかした健康づくり

◆7月16日 19:00-21:00

園部地区第1回 テーマ：環境資源の活用／南丹ブランド

参加者7名

○これまでにない働き方が実現できる

- ・3つ4つ事業が展開できる
- ・2拠点居住のメッカ

○南丹市のブランドイメージがある

- ・ものづくりの町、小さな工房を募集
- ・まちなかから一山超えたら自然になる（都会の人たちにとっては魅力的な昔の風景）
- ・園部にも実は林業組合がある（林業女子がチェーンソーアートしている）
- ・古民家、旧銭湯、教会を活用（古民家シェアハウスの運営）
- ・「丹」は赤い、あったかいという意味がある、熱い地域をアピール

○自慢したくなる農業がたくさんある

- ・地産地消のプロセスを見せる
- ・南丹市の名前の付いた野菜
- ・学生と地域のつながり「農業」「林業」

○公共施設を活用した交流がある

- ・ホールを利用したコンサートなどが気軽にできる
- ・文化的な活動が活発に行われている
- ・駅の活用

◆7月17日 14:00-16:00

美山地区第2回 テーマ：災害への備え／保健・医療・福祉

参加者5名

○災害に負けない地域

- ・助けてほしい人ではなく、助けがいない人が手をあげる
- ・災害時の避難場所は小さい単位で自分たちで決める
- ・防災無線を地域で活用する（地域のイベント情報などのお知らせにも）

- 災害の時にすぐに助け合える地域のつながりがある
 - ・子育てが終わった女性、結婚されていない女性、男性のつながりをつくる（消防団以外）
 - ・地域ごとに開催する防災教室・フィールドワーク
 - ・消防団員であるメリットをつくる
- 徹底して森林の管理ができています
 - ・大地の再生講座を開催したい
- ハイテクな里山環境がある
 - ・どこでもネットがつながる環境
 - ・小水力発電がある
- 地域全体で健康を考える機会がたくさんある
 - ・急に不健康になるわけではないので、子どものころからの健康づくりの取り組みを進める
 - ・味噌や醤油などみんなで手作りする
 - ・ちょっとずつ高齢者ができることを持ち寄って暮らせるシェアハウス
- 地域全体で子どもを育てる
 - ・子ども会の活動を子育て世代以外の人を手伝えるようなくみづくり
 - ・美山分校を面白い学校にする（循環）

◆7月17日 19:00-21:00

八木地区第1回 テーマ：環境資源の活用／南丹ブランド

参加者 11名

- 南丹市のブランドイメージがある
 - ・マニア向けの観光資源、魅力がたくさんある
 - ・エネルギー自給率の高いまち
 - ・南丹市全体としてのコミュニティができています
- 公共施設を活用した体験交流がある
 - ・廃レールの建物八木駅の活用
 - ・吉富小学校の活用
- 自慢したくなる農業がたくさんある
 - ・種をつくっているまち
 - ・農家の食卓を動画配信する
- 循環する仕組みがある
 - ・多世代交流スペース
 - ・地区で利用できる地域通貨

- ・ 地元の農作物を地元でまわす（地産地消）

○都市部にはない自然体験ができる

- ・ 生物の多様性について理解を深めることのできる教育
- ・ 草刈りボランティア

◆7月20日 14:00-16:00

美山地区第3回 テーマ：地域教育／地域コミュニティ

参加者 8名

○山間部ならではの濃密教育

- ・ 小学校、中学校で農業を必須で教える
- ・ 地域の人が指導員、先生になれる（農業、IT、茅葺）
- ・ 美山学（コミュニティスクール）を活かした取り組み

○多機能型学校がある

- ・ 美山なのに国際的な教育も最先端（ICTを活用すればできる！）

○若い人がバリバリ活躍できる地域に

- ・ 子連れで働くことができる環境が整っている
- ・ 心と経済の関係を大切にできる地域

（地元の人がお客さん、地域のことにしっかり参加することが大切）

○幅広い世代が交流できる

- ・ 若い人もお年寄りもお互いに協力し合える
（若い人がお年寄りを支え、お年寄りが若い人を助ける）
- ・ 地域の人と外に出ていってしまった人をつなぐために地域のお祭りを継続する

◆7月20日 19:00-21:00

日吉地区第3回 テーマ：地域教育／地域コミュニティ

参加者 10名

○山間部ならではの濃密教育

- ・ 子どもが地域、近所の人とかかわる
- ・ 近所ホームステイ（親戚ではない近所の人のお宅にホームステイする）

○多機能型学校がある

- ・ コミュニティスクールの発展・活用
- ・ 南丹市シニア大学を開校

○学び・交流の機会がある

- ・ 子どもだけではなく、どの世代も学び続けられる

- ・「本気」の大人を見せる、触れ合う機会をつくる
- 後世に伝えていく里山の文化がたくさんある
 - ・地元を見つめなおし、地区ごとの違いを知る、楽しむ
 - ・地域の祭りの復活
 - ・住んでいる人が「好き」といえるまち
- 幅広い世代が交流できる
 - ・人が「集まりたい」場所づくり
 - ・農業をコミュニケーションの中心に
 - ・ミニイベントがあふれるまち

◆7月21日 14:00-16:00

園部地区第2回 テーマ：災害への備え／保健・医療・福祉

参加者 6名

- 災害に負けない地域づくり
 - ・消防団の証明書があればスーパーで割引がある
 - ・地域で歩いてマップをつくる
 - ・気候変動の激変への対応を情報共有するしくみ
- 災害のとき、すぐに助け合える地域のつながり
 - ・100円くらいから参加できる地域内の支援金制度
 - ・高齢者×若者（そこそこの年の差フレンズをつくる）
 - ・独居の高齢者宅に学生が住み込む
 - ・子供向けの防災訓練
- 徹底した森林の管理ができています
 - ・山と川の情報（入っていい場所、だれかの敷地など）を知ることができる
 - ・林業のバイトが気軽にできる
- 地域全体で検討を考える機会がある
 - ・地域にやさしい農業（無農薬、有機栽培など）の認証制度
 - ・「わたみのたくしよく」的な「園部のたくしよく」
 - ・趣味を通じたツナガリ（日吉ダムの SUP）

◆7月21日 19:00-21:00

八木地区第2回 テーマ：災害への備え／保健・医療・福祉

参加者 7名

- 災害のとき、すぐに助け合える地域のつながりがある
 - ・小学校単位でのまとまりをもつという意識（いざという時の連絡網）
- 災害に負けない地域づくり
 - ・日常的に避難訓練ウォーキング
 - ・地域ごとに約束事を決めておく、秘密のルール（防犯）
 - ・地域の SNS の活用
- ハイテクな里山環境がある
 - ・地域のサイレンと防災無線の連動
 - ・CATV の活用
- 車がなくなっても、スイスイ出歩ける
 - ・自動運転でも安全第 1 の車社会
 - ・ゴルフカートのような高齢者でも運転できる電気自動車リモコン式
- 地域全体で子どもを育てる
 - ・あいさつは日常生活の潤滑油
 - ・他人の子どもを叱れる関係
- 地域全体で健康を考える機会がたくさんある
 - ・地区の運動会は必ず続ける（団結力は防災にもつながる）
 - ・在宅ケアがしやすいようにサポートする人を増やす
 - ・地域福祉のコーディネーター
 - ・オシャレなおばあちゃん、オシャレなおじいちゃん

◆7月24日 14:00-16:00

八木地区第3回 テーマ：地域教育／地域コミュニティ

参加者 6名

- 山間部ならではの濃密教育
 - ・山で学ぶ、里で学ぶ、田畑で学ぶ
 - ・近所の人に勉強を見てもらえる
 - ・山村留学（美山まで行かなくても、八木でできる）
- 多機能型学校がある
 - ・コミュニティスクールの活用、学校と地域の連携
 - ・地域の技を持った人と交流できる学校
 - ・都会からも入学したい学校
- 学び・交流の機会がたくさんある

- ・南丹市在住の外国人と交流が持てるようにする
- 後世に伝えていく里山文化がたくさん残っている
 - ・子どものうちから南丹市の好きなところを10コいえるように
 - ・文化度が高い！ホンモノに触れられる
- どこにいても挨拶される
 - ・大人が積極的に挨拶するコミュニティ
- 日常的に強いつながり意識がある
 - ・何があっても食うに困らない助け合い
 - ・地域通貨があるまち
 - ・おじいちゃんおばあちゃん、子育て世代同士で子育てをシェア

◆7月24日 19:00-21:00

園部地区第3回 テーマ：地域教育／地域コミュニティ

参加者 14名

- 学び・交流の場がたくさんある
 - ・障害のある人、引きこもりの人たちが気軽に集まれる場
 - ・自由保育（古民家リノベーション、自然環境を活かす）
 - ・素敵な本の読書会で集まる
 - ・新しい考え方を肯定し広げる場
- 多機能学校がある
 - ・地域の人がどんどん学校に入っていける（特技を伝える）
 - ・市が認めるフリースクール
 - ・街づくりのワークショップに小・中・高生も参加する
- 幅広い世代が交流できる
 - ・趣味でつながるサークル活動をもっと気軽に
 - ・子どもを連れて参加できる集まりがたくさんある
- 日常的に強いつながり意識がある
 - ・モノとモノ、スキルとスキルを交換できる場
- 後世に伝えていく里山文化がたくさんある
 - ・一般の人が輝けるイベント
 - ・今、すでにある魅力を整理してわかりやすく発信する
 - ・南丹市の中での方言の違いを楽しむ



(園部会場)



(八木会場)



(日吉会場)



(美山会場)